

Great Tokoro Once more 2008

いきいき 2008 オホーツク自然体験村 ところ昆虫の家 に行ったよ～

虫夢とところ新聞

第2版
 2008年 8月
 吉小牧明野中学校1年
 小橋来海

私は再び「ところの森」に行きました。昨日の自然体験に参加するために。去年のプログラムと少し変わっていましたが、大自然を満喫することができました。今年も、親から2つの指令が出されました。去年、出来なかつた事へのリベンジのために・・・

M1 昆虫採集に行つて
 カフトムシ、クワガタを
 おみやげに持って帰る

8月1日、吉野林道に昆虫採集に行きました。ミヤマカラスアゲハやタテハチヨウメ、メジロアゲハ、ンボも飛んでいました。私としては、フクログナムイロがタテハチヨウメのようにかたまつたモノシロチョウ～

花のようにかたまつたモノシロチョウ～
 夜の白い布に投影機で光をあてて、カフトムシやクワガタをとりまいた。はい集まったのはがでいた。おみやげにカフトムシを逃げた。おみやげにカフトムシを逃げた。おみやげにカフトムシを逃げた。

北元苦
 大気小
 研が牧
 究がに
 林の帰
 にの帰
 帰る

M2 船上で帆立を食べる

8月2日、今日はサロマ湖でホタテをとる漁業体験です。サロマ湖外洋は大荒れで、漁船に乗って着陸場へ行き、口より大きなホタテを食いました。甘かったです。私は活きたホタテは苦手です。帰るときも、波が高く目が眩しかったです。海水は冷たくて塩気がピリピリして痛かったです。

サロマ湖のホタテ漁はホタテを何個も糸でつなぎ、サロマ湖外洋で養殖する方法と、湖内に大きな箱にホタテをたくさん入れて養殖する2つの方法があります。

食や紙を
 手紙を書き、
 送りまし
 て。ちよ
 と書
 きずら
 かも喜
 こんで
 もらえ
 ました。

常呂川 いかだ下り
 8月3日 常呂川をイカダで下りました。常呂川は大雪山系三国山を源としてオホーツク海に注ぐ一級河川です。その下流「北見市野町忠志」から「北見市常呂町福山」までの20キロメートルをお手製の旗をかかげて下っていきます。

途中の中洲で昼食を食べてひと休み。川にドツプリつかって遊びました。イカダは浅瀬にひっかかったり、止まったまま。リクアグに目を上をさした。足もちい～

サロマ湖 カヌー体験
 8月8日 サロマ湖でカヌーを体験しました。「ところ青少年の家」のスタッフさんに教えてもらい4人から5人で一艘のカヌーをこぎます。水刃まで運びのクルーの協力が必要。大それたので4人の息を併せて合わせなくてはなりません。湖上に出ると風がヒたくなかったです。陸揚げも重くてキツかったです。

たたら鉄作り
 村下になる！
 たたら鉄作り
 村下になる！

来海 村下になる！
 たたら鉄作り
 鉄は刀・刃物・鉄砲などいろいろの道具に用いられるので昔から重要な金属でした。「たたら」は日本古来の製鉄法で「日本書紀」に神武天皇の后「姫路踏五十鈴姫命」へひめたたらといふのひめのことからきているらしいです。「古事記」では、「百済」や「新羅」との交渉の場に「タタラ」という言葉が出てきます。「古代朝鮮語」では「も」と加熱する」という意味があり、チベット・ネパールの「ダツタン語」では「猛火」の事。古代インドの「サンスクリット語」では、「タタラ」とは「熱」を現し、金属製錬と密接な関係を持ち、中央アジアを源にしている言葉であると考えられます。「たたら製鉄」は、砂鉄を用い、木炭の燃焼熱によって砂鉄を還元して鉄を得る方法です。

能取湖(網走)の砂鉄を取り、砂や砂利を取り除き、真水で洗い、天火で乾燥させます。耐火レンガを使用し、高さ1メートルの溶鉱炉を作ります。炉の上から良い鉄が出来るようになります。この作業は休みがない。暑くて真っ黒になり大変です。「村下」とは、タタラ製鉄の技術者責任者の事で、昔は失敗すると「切腹」したそうです。

たたら鉄作り
 村下になる！
 たたら鉄作り
 村下になる！

今年のいきいきも終りに近づき
 最後の夜、今まで練習してきた太鼓をやぐらの上でたたき、子供盆踊りをしました。提灯に灯が点りともきれいで、やぐらの上はゆれて怖かったです。最後の晩さんは海鮮バーベキュー。とても美味い！次朝、代表で村長に色紙をあげました。村長からは終了証を貰いました。

7月30日 開村式・歓迎パーティー
 8月1日 茅ほりトラクター紙すき
 2日 昆虫採集・標本作り
 3日 漁業・網走観光
 4日 常呂川いかだ下り
 5日 吉野林道・温泉
 6日 プランクトンミシタを食
 7日 手打ちそば・太鼓
 8日 標本整理・蝶類作成
 9日 カヌー・川窪さん家
 10日 火山ができるまで・リース作り
 11日 たたら鉄
 12日 水ロケット・そうじい送別会
 閉村式 がんばった

あとがき
 このおじさん達は生粋の北海道弁をぶっくらぼうにしゃべります。怒られてる感じが、鬼もいます。鬼より怖い人も、でもこのおじさん達はとびきり優しく、良い人達なんです。だから次はリीडァーで来ます。